

地域連携センター ニュースレター

工学部エネルギー化学科の機能設計・解析化学研究室が「エネフェスせたがや 2015」に出展

2015 年 11 月 7 日（土）、二子玉川ライズ周辺にて開催された「エネフェスせたがや 2015」に、工学部エネルギー化学科の機能設計・解析化学研究室-無機物質変換-（指導教員：江場宏美准教授）が出展しました。

本イベントは、エネルギーの効率的な利用と自然エネルギーの活用促進に向けて、省エネ・創エネの最新技術を身近に感じることができる環境イベントです。今年は、同研究室の江場宏美准教授や学生スタッフを中心に、水素エネルギーを作る実験や、その他のエネルギーを変換させる簡単な実験を通して、水素エネルギーや各種のエネルギーについての理解や認識を深めてもらうとともに、物質とエネルギーの循環リサイクルについても考えてもらいたいということから、出展することになりました。当日は、多くの子どもたちと保護者の方が本学ブースに立寄られ、水素エネルギーや各種エネルギーについての理解を深めながら、大学の学びの一端を体験していただきました。以下、当日の開催模様です。



研究内容を説明する江場宏美准教授



説明する研究室学生スタッフ



協力してくれた研究室スタッフ

世田谷区教育委員会が主催する「才能の芽を育てる体験学習」を本学二子玉川夢キャンパスで開催しました

2015 年 11 月 21 日（土）、世田谷区教育委員会が主催する「才能の芽を育てる体験学習」（講師：男女共同参画室長・岡田往子准教授）を、二子玉川夢キャンパスにて開催しました。本イベントは、区立小学校の 5・6 年生を対象に、子供たちが自らの才能を育み、興味関心を深めるきっかけづくりを目的とし、本学は 2006 年に同教育委員会からの委託を受けて、実施しています。今回は「モーターを作って、電気を知ろう」というテーマで、電気を作る仕組みや電気で物を動かす仕組み（モーター）など、科学に必要な電気についての実験や工作を行いました。参加した子供たちからは、「身近なものにモーターが使われていることがわかり、もっと勉強したいと思った」「モーターの働き・仕組みが理解できてよかった」などといった感想が挙げられ、社会の将来を支える子供たちに科学の不思議や面白さを知ってもらえた、とても良い機会となりました。



子供たちに教える岡田往子准教授



電気の仕組みを学ぶ子供たち

「地域連携センター ニュースレター」へのご要望、情報提供、お問い合わせは下記まで。
 ■□■ お問い合わせ先 ■□■
 東京都市大学 研究推進部地域連携センター
 〒158-8557
 東京都世田谷区玉堤1-28-1
 TEL: 03-5707-0104 (内: 2223・2224)
 FAX: 03-5707-2128